



中央アジア地域ニュース

ウズベキスタン：韓国企業によるレアメタル開発（5月14日付トルキスタン・プレス他）

1. 韓国企業 Shindong Enercom Inc 社と国家地質・鉱物資源委員会は、石英鉱床の探査・採掘のための合弁企業設立の MoU に署名した。合弁企業は、同率資本で設立され、石英の探査を行った後、石英から工業用シリコンや多結晶シリコンを生産する。Shindong 社は3年間の期間でアンディジャン、ジザク、ナマンガン、タシケント4州の地質調査を実施する。第一段階での投資額は100～200万米ドルである。
2. また、同委員会は、Shindong Resources Co Ltd 社と、銅及びモリブデンの埋蔵が有望であるナヴォイ州のオラゾリン地域での地質探査について協議を行っているほか、Korea Data System Neoplant の2社とサマルカンド州、カシカダリア州およびカラカルパクスタン自治共和国の石英鉱床の地質探査にかかる MoU にも署名した。
3. 2007年秋、ウズベキスタン政府は南部及び西部地域のレアメタル12鉱床の地質探査実施したところ5鉱床で98%のシリコン含有物を含んだ3000万トンの石英埋蔵量を有する。なお、公式統計ではウズベキスタンには現在3000の鉱物資源鉱床があり、そのうち1100鉱床は開発にむけた準備がなされている。内訳は、金鉱床が50、鉄及び非鉄金属が41、炭化水素が187、化学鉱物が19、他の鉱物が45カ所である。これら鉱物資源の埋蔵量評価額は、1.3兆米ドルとされる。
4. 多結晶シリコンは、PC部品、太陽電池や最新技術製品製造に不可欠な物資である。シリコンの世界市場は1トンあたり30万米ドルと高騰しており、ウズベキスタンは米国、ブラジル、中国、ノルウェーが輸出量の75%を占める同市場への参入可能性を得た。
5. Shindong Enercom Inc 社は、1992年からウズベク市場で操業しており、繊維業分野でのポリエチレン管と食品産業で約3000万ドル相当の投資事業を行っている。08年当初、同社は韓国企業コンソーシアムの1メンバーとして、鉄道用冷却貨物車企業の株式47%を1750万米ドルで購入した。

<参考> 石英は二酸化ケイ素が結晶した鉱物で、その結晶度が高いものが水晶である。水晶は圧力が加わると電気が発生する圧電体であり、光ファイバー、工業用ガラス、電子工学などに用いられる。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799